



16-14470-0043
2016年10月19日

報道各位

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト
共同委員長 小林 喜光
((公)経済同友会 代表幹事)
種 村 均
(中部経済同友会 代表幹事)

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第10期活動終了のお知らせ
～ 全国 496 社の参加を得て、被災3県の専門高校に 8,400 万円の支援を実施～
(5年間10期の支援総額は 21.8 億円に達しました)

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、犠牲になられた皆様に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

我々、全国の経済同友会は、大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の復興を中長期にわたって支援していくため、2011年10月に「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」を立ち上げました。このプロジェクトは、被災地の人づくりや産業活性化に向けて、被災地に所在する各経済同友会の協力の下、各県などと協議しながら真に支援が必要な方々に対して、全国各地の企業・個人よりお預かりしたご厚志を半年ごとにお届けするプラットフォームです。真の復興に向けて“一步一步”進んでいってほしいという思いを込め、5年間10期にわたって、将来を担う若者を育成する農業、水産、工業などの専門高校に震災で失われた実習機材の提供などを行ってきました。

さる9月30日をもって、3月1日より開始した第10期活動が終了いたしました。企業・法人496社、個人71名のご参加を得て、第10期にて頂戴したご厚志8,457万8,110円を次頁の通り、それぞれの支援先にお届けさせていただきます。

この第10期活動をもって、5年間10期にわたって続けてきた本プロジェクトによる東北支援は終了いたします。第1期～第10期までの活動による支援総額は21.8億円に達しました。ご協力いただきました全国の企業・法人、個人の皆様はもとより、報道機関の皆様のお力添えのおかげであり、心より御礼を申し上げます。

なお、IPPO IPPO NIPPON プロジェクトでは、本年4月に発生した平成28年熊本地震からの復興を支援するため、9月12日より、新たに熊本支援活動を開始しました。引き続き、プロジェクトの趣旨をご理解いただき、ご高配のほどお願い申し上げます。

本件問合せ先：

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト運営事務局（経済同友会 事務局内）

藤井、青木、和田、塚山（TEL：03-3284-0316 / E-mail：ippo@doyukai.or.jp）

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第 10 期活動概要

(1) 募集期間：2016年3月1日(火)～9月30日(金)

(2) 参加者数：企業・法人496社、個人71名

(3) 寄附総額：8,457万8,110円

(4) 支援内容

専門高校への寄附*

岩手県	1,200万円
(高田高等学校)	12,000,000円)
宮城県立専門高校	3,659万円
(気仙沼向洋高等学校)	12,578,110円)
(宮城県農業高等学校)	12,000,000円)
(宮城県水産高等学校)	12,000,000円)
福島県立専門高校	3,600万円
(磐城農業高等学校)	12,000,000円)
(いわき海星高等学校)	12,000,000円)
(小高工業高等学校)	12,000,000円)

*：第10期活動では、支援が最終となることから、従来の実習機材の提供をあらため、各県教育委員会を通じて機材購入に必要な資金を寄贈いたします。2019年3月末までを目途に、各県教育委員会の責任において各校で必要とされる実習機材をご購入いただきます。

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を(公社)経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立ていたしております。

以上

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 東北支援活動 実績
(第1期～第10期活動の総計)

(1) 各期における寄附金額(募集期間)

第1期活動	3億4,150万8,947円(2011年10月11日～2012年1月31日)
第2期活動	2億6,812万6,113円(2012年02月20日～2012年6月29日)
第3期活動	2億6,350万2,465円(2012年08月27日～2013年1月31日)
第4期活動	2億3,447万0700円(2013年03月01日～2013年7月31日)
第5期活動	2億6,300万1,551円(2013年09月02日～2014年1月31日)
第6期活動	3億349万9,526円(2014年3月3日～2014年7月31日)
第7期活動	2億894万2,903円(2014年9月1日～2015年1月30日)
第8期活動	1億3,380万4,835円(2015年3月2日～2015年7月31日)
第9期活動	7,750万6,343円(2015年9月1日～2016年1月29日)
第10期活動	8,457万8,110円(2016年3月1日～2016年9月30日)
(第1期～第10期 総計)	21億7,894万1,493円

(2) 参加企業数: 企業・法人496社、個人71名

(3) これまでの支援実績・内訳

1) 専門高校への実習機材の提供(消費税額を含まない)

<u>岩手県立専門高校</u>	<u>5億5,384万円相当</u>
高田高校(トラック、播漬機、マーク押機など)	1億8,682万円相当
久慈工業高校(NC旋盤、CADシステム、発電機など)	7,130万円相当
大船渡東高校(食器類1,833点、精密平面研削機など)	6,853万円相当
種市高校(和船、船外機、潜水実習機材一式など)	5,777万円相当
宮古工業高校(CADシステム、実習用ミシンなど)	4,861万円相当
釜石商工高校(情報処理実習用機材一式など)	4,600万円相当
宮古水産高校(潜水実習機材、トラックなど)	3,032万円相当
一関工業高校(数値制御工作機)	2,285万円相当
久慈東高校(電動介護リフト、たん吸引装置など)	1,273万円相当
宮古商業高校(POSシステム、音響機器システム)	891万円相当
<u>宮城県立専門高校</u>	<u>5億2,488万円相当</u>
気仙沼向洋高校(バス、GMDSS無線設備など)	1億4,191万円相当
宮城県農業高校(バス、旋盤、冷凍冷蔵庫など)	1億3,727万円相当
宮城県水産高校(バス、クレーン、ヨットなど)	8,107万円相当
白石工業高校(CAD教室システム一式)	5,180万円相当
登米総合産業高校(高速精密旋盤、フライス盤など)	4,100万円相当
石巻工業高校(バンドソーマシンなど)	2,419万円相当

松島高校（タブレット端末 160 台、管理カートなど）	1,606 万円相当
古川工業高校（トータルステーションなど）	1,534 万円相当
加美農業高校（トラクター、バークリーナーなど）	807 万円相当
宮城県工業高校（電動機発電機実習装置 2 種など）	464 万円相当
本吉響高校（ダイヤル式抵抗器 5 台）	121 万円相当
亘理高校（移動式掲示パネル 6 台）	99 万円相当
石巻北高校（糶摺機、搬入・据付調整費など）	89 万円相当
志津川高校（プロジェクター、電子黒板）	62 万円相当
伊具高校（オープンレンジ 4 台）	47 万円相当

福島県立専門高校 6 億 2,280 万円相当

いわき海星高校（教習艇、レーダー、海図机など）	1 億 6,965 万円相当
磐城農業高校（鶏舎用設備、梨棚、ミニショベルなど）	9,171 万円相当
小高工業高校（CAD、CAM システム）	6,821 万円相当
勿来工業高校（模擬送電実習装置、シャーリングなど）	5,766 万円相当
平工業高校（6 尺旋盤、ロードローラーなど）	4,333 万円相当
双葉翔陽高校（トラクター、高倍率光学顕微鏡など）	2,932 万円相当
相馬農業高校（バークリーナー、トラクターなど）	2,257 万円相当
白川実業高校（旋盤、内燃機関実習装置）	2,046 万円相当
塙工業高校（ターニングセンター）	1,807 万円相当
福島工業高校（内燃機関性能実験装置）	1,378 万円相当
郡山北工業高校（立形フライス盤）	1,118 万円相当
会津工業高校（卓上走査型電子顕微鏡）	992 万円相当
二本松工業高校（6 尺旋盤）	846 万円相当
会津農林高校（スピードプレイヤー）	830 万円相当
福島明成高校（スピードプレイヤー）	830 万円相当
小野高校（トラクター）	698 万円相当
安達東高校（ダブルキャブトラック）	531 万円相当
喜多方桐桜高校（旋盤）	500 万円相当
岩瀬農業高校（ダンプトラック）	495 万円相当
青陵情報高校（旋盤）	490 万円相当
修明高校（小型貨物自動車）	371 万円相当

2) 専門高校への機材購入資金の提供

・岩手県立専門高校	1,200 万円
高田高校	1,200 万円
・宮城県立専門高校	3,657 万 8,110 円
気仙沼向洋高校	1,257 万 8,110 円

宮城県農業高校	1,200 万円
宮城県水産高校	1,200 万円
・福島県立専門高校	1,200 万円
磐城農業高校	1,200 万円
いわき海星高校	1,200 万円
小高工業高校	1,200 万円
3) 普通高校への実習機材の提供	
・岩手県立普通高校	281 万円相当
大槌高校(会議用テーブル 20 台)	192 万円相当
宮古高校(紙折機)	62 万円相当
大船渡高校(生物実験用オシロスコープ)	14 万円相当
宮古北高校(デジタルビデオカメラ)	12 万円相当
4) 宮城県教育委員会 産業教育への支援	
・産業教育復興フェア、第 24 回産業教育フェア	3,287 万 3,153 円
5) 国公立大学法人による復興事業への支援	
岩手大学三陸復興推進事業	1 億 1,088 万 499 円
東北大学	4,402 万 7,022 円
災害復興新生研究機構	1,400 万円
東北未来創造イニシアティブ	1,522 万 7,022 円
被災地医療体験実習事業	1,130 万円
農学復興プロジェクト	350 万円
宮城大学復興ステーションプロジェクト	8,508 万 6,759 円
福島大学 OECD 東北スクール	1,000 万円
6) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附	
いわての学び希望基金(岩手県運営)	3,156 万 2,567 円
みやぎこども育英募金(宮城県運営)	3,578 万 9,590 円
ふくしまこども寄附金(福島県運営)	2,022 万 7,022 円
7) 福島県二本松市	
二本松市放射性物質測定センター	1,000 万円
(4) 備考	
IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を(公社)経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりした <u>ご厚志は、全額、被災地支援にお役立ていたしております。</u>	

以上